

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	健康福祉部健康局 生活衛生課	記 入 者 職 氏 名	生活衛生課長 源田 健 (環境衛生班長 石川 幸子)
--------------	----------------	----------------	-------------------------------

1 事業の概要

事 業 名	動物愛護センターリニューアル事業	総事業費 (概算)	207百万円
		R2年度補正 予算計上額	207百万円

所 在 地	<ul style="list-style-type: none"> ・三木市志染町窟屋1242-48 (動物愛護センター三木支所) ・養父市堀畑587 (動物愛護センター但馬支所) ・淡路市塩田新島5-3 (動物愛護センター淡路支所)
事業目的	<p>1 目的 東播磨・北播磨地域、但馬地域及び淡路地域における、動物愛護を通じた交流・学習・体験の拠点を再整備するとともに、動物の適正飼養や譲渡の取組を推進することを目的とする。</p> <p>2 経緯 上記地域では、人口減少や高齢化の進行、地域全体の活力低下等の課題があり、にぎわいを創出しつつ、次世代を担う人材を育成することが必要となっている。一方、人と動物の関わりは非常に深く、動物とふれあうことによる癒しの効果や情操教育など、次世代を担う子どもたちの健全育成面でも、動物がもたらす効果が注目され、活用されている。 そこで、人と動物の関係を、地域の課題を解決するための一つのきっかけとして捉え、動物を介して多くの県民が集い交流する拠点を整備する。</p> <p>3 主な課題 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で安易にペットを飼う人が増加し、他人の迷惑を顧みない飼い方や飼育を途中で放棄するケースが増えることが懸念されている。 動物愛護センターにおける殺処分や動物に関する苦情相談については、飼い主のいない猫が占める割合が高く、猫の適正飼養や譲渡を更に推進することが課題となっている。</p>
事業内容	<p>動物愛護センター三木支所、但馬支所及び淡路支所に下記の機能を有する新棟を建築し、支所機能を拡充する。</p> <p>1 猫の屋内飼養モデルルームの設置 一般家庭の居間をイメージした部屋に、猫の行動や習性に配慮した工夫を施し、来館者が猫とふれあいながら屋内飼養を体感する。</p> <p>2 交流啓発スペースの設置 猫の譲渡や飼い方の相談を行うスペースを設置し、動物愛護や適正飼養等に関する普及啓発を推進する。</p> <p>3 猫飼養室の設置 譲渡する猫の飼養管理を行う。</p>

